

登録コード	MA730503	開講年度	2026				
授業科目名	リプロダクティブ・ヘルス看護学特別研究					担当教員	芳賀 亜紀子
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Reproductive Health					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻／学年	母子看護学領域/2年次
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	必修科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄						
	MS 2 6カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					⇄	セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツに関わる独創的な観点での研究を推進する能力を有する。
(2)授業の概要	セクシャルリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関連する研究テーマを設定し、適切な研究方法を選択し、研究計画書を作成する。倫理審査の承認を得て、データ収集・分析を行い、研究論文を完成させるまでの一連の過程を行う。 本科目は、担当教員の実践経験、研究経験、研究指導経験を活かして実施する。						
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	1.セクシャルリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する研究テーマを設定する。 2.適切な研究方法を選択肢、研究計画書を作成する。 3.データ収集・分析を行い、研究論文を完成させる。						
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1.セクシャルリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関連する先行文献の検討を行うことができる。 2.研究テーマを設定することができる。 3.研究テーマに基づく研究計画を立案することができる。 4.倫理審査を受審し、承認を受けることができる。 5.計画書に従って、データ収集が適切に実施できる。 6.データ分析することができる。 7.結果の解釈することができる。 8.研究論文を作成することができる。 9.研究成果のプレゼンテーションができる。						
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1.セクシャルリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する先行文献の検討を行う。 2.研究テーマを設定する。 3.研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4.倫理審査を受審し、承認を受ける。 5.データ収集・分析を行う。 6.修士論文をまとめる。 7.研究成果のプレゼンテーションを実施する。						
(6)授業の進め方	研究計画に沿って研究を進める。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	研究遂行時は、各過程で教員と共に確認の上で進めます。 1週間に1回を目的に、新たな段階に進む時期はその前後に教員と密に連絡を取り、準備の程度について教員の確認を得て進めてください。 毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出します。 研究遂行時も研究方法論、研究課題に関する関連文献の収集に努めてください。 また、関連学会にも参加し、新たな知見を収集してください。						
(8)成績評価の方法	以下の研究計画の遂行の過程を評価します。 1.関連資料・文献を読解し、的確な把握、妥当な解釈がなされ、客観的に正当な批判や批評が提示されているか。（20点） 2.研究主題の探求に際して実施した実験・調査が適切な方法に基づいて行われているか。（20点） 3.論証方法・論旨とデータの提示方法が明確かつ妥当であるか。（20点） 4.論証の方法や結論と成果が先行研究との関連あるいは研究史に照らして十分な独創性と意義を有するか。（10点） 5.表現の的確性と表現力が優れているか。（10点） 6.本文、章立て、中期、参考書目あるいは図表等、部分的かつ全体の校正において論文としての体裁が整っており、その完成度が高いか。（10点） 7.研究成果のプレゼンテーションの資料は内容が明確かつ妥当であるか（5点） 8.学位論文発表会においてプレゼンテーションは明確かつ妥当か（5点）						
(9)成績評価の基準	修士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価します。 下記の評価項目の合計点に基づき、判定基準は、90-100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）60点未満を不可とします。 【修士論文の評価】 (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						

(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	随時受け付けます。 連絡先 芳賀 亜紀子 akihaga@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	適宜提示します。